

# 令和3年度「みやぎきの教育に関する調査」集計結果の概要について

令和4年4月30日  
教育庁教育政策課

## 1 調査目的

「宮崎県教育振興基本計画」の推進に関して、県教育委員会の施策及びその推進の在り方の改善を図るために、学校、家庭、地域、児童・生徒、教職員の現状や意識を把握する。

## 2 調査について

### (1) 調査対象等

調査種類	調査対象	回答者数
学校向け	全ての市町村立幼稚園、小・中学校及び、義務教育学校・県立中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校	415校
家庭向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の保護者（1校あたり3人程度）	1,480名
地域向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の地域住民（1校あたり3人程度） ※ 県立中学校は附属する高等学校を含む	1,215名
児童・生徒向け (抽出調査)	抽出校（52校）の小学校5年生・特別支援学校小学部5年生（1校あたり1クラス）	1,715名
	抽出校（46校）の中学校2年生・特別支援学校中等部2年生（1校あたり1クラス）	1,449名
	抽出校（37校）の高等学校2年生・特別支援学校高等部2年生（1校あたり1クラス）	1,159名
教職員向け (抽出調査)	学校向け調査対象校（幼稚園を除く）の教職員（1校あたり4人程度）	1,315名

### (2) 調査方法

オンライン調査（調査対象へ各学校を通して調査URLを送付し実施）

### (3) 調査期間

令和3年12月27日～令和4年1月31日

## 3 調査結果の概要

### (1) 学校向け調査について

問14 道徳の授業以外で、「いのち」の尊さや大切さに関する授業（活動）や取組を行っている学校が100%となった。

問27 ICTの活用など情報教育に関する研修を実施し、授業に役立てている学校が100%となった。

問28 ICTを活用した主体的・対話的で深い学びを実施する上での課題について、職員のICT活用能力に課題があると答えた学校が28.0%（前年度69.8%）であり、大きく改善している。

問30 貴校は、働きやすい環境づくりに取り組んでいますかの問いに、「よく取り組んでいる」と答えた学校の割合が38.3%（前年度46.7%）で、8.4ポイント低い結果となった。

### (2) 家庭向け調査について

問12 家庭が担うべき役割として回答された割合が上位の項目 ※複数回答

項目	割合
基本的なルールやマナーを身につけること	94.2%
あいさつ、言葉づかい、礼節など日常生活習慣を身につけること	92.2%
やさしさや思いやりの心の育成	84.4%

問16 これからの宮崎県の教育で重点的に取り組んだ方がよいと思う事項と回答された割合が上位の項目 ※複数回答

項 目	割 合
いのちを大切にする教育の充実について	76.0%
学力の向上について	68.6%
体力の向上について	58.4%

問18 コロナ禍において、子どもたちが今後学校生活を送る上での課題として回答された割合が上位の項目 ※複数回答

項 目	割 合
学校行事や体験活動等の実施	67.8%
心身の健康と体力の向上	51.6%
差別や偏見の防止に向けた取組	51.0%

### (3) 地域向け調査について

問6 あなたの地域では、子どもたちが地域の行事に積極的に参加していますかの問いに、「参加している」「ある程度している」と答えた割合が90.8%（前年度87.8%）で、3.0ポイント上昇している。

問12 コロナ禍において、学校行事等の制限により、児童・生徒と地域の皆さんとの交流の機会が少なくなっていることについて、交流の機会をこれまで通り実施してほしいと答えた割合が51.9%（前年度31.6%）であった。

問14 （新規調査）本県は多くのスポーツの試合やキャンプ・イベント等が開催されているが、応援等のために見に行きますかの問いに、「よくある」「ある程度ある」と答えた割合が45.3%であった。

### (4) 児童・生徒向け調査について

問3 自分にはよいところがあると思うかの問いに、「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合が、全ての調査対象で昨年度より上昇している。

調査対象	令和3年度	令和2年度
小学校・小学部5年生	78.8%	78.6%
中学校・中等部2年生	76.5%	71.8%
高等学校・高等部2年生	81.1%	77.9%

問11 将来の夢や目標を持って自分の職業や生き方について考えているかの問いに、「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合が、全ての調査対象で昨年度より上昇している。

調査対象	令和3年度	令和2年度
小学校・小学部5年生	86.1%	82.2%
中学校・中等部2年生	79.5%	76.0%
高等学校・高等部2年生	85.3%	81.5%

問13 卒業後の進路を考えるとときに、将来ふるさとへ貢献しようとする考えをもって進路先を選ぼうとしているかの問いに、「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた高等学校・高等部2年生の割合が53.4%（前年度48.7%）で、4.7ポイント上昇している。

### (5) 教職員向け調査について

問3 児童生徒がICT機器を授業や学習活動などで活用する場面をほぼ毎日設定していると回答した割合が58.0%（前年度38.0%）となり、20.0ポイント上昇した。

問12 （新規調査）新型コロナウイルス感染症対策の取組のうち、担任（担当）する学級等において十分に取り組むことができたと思うものと回答された割合が上位の項目 ※複数回答

項 目	割 合
マスク着用の徹底	94.8%
教室内の換気の徹底	91.7%
健康チェックカード等の活用	83.0%

問13 臨時休業の備え（学びの保障）のために取り組んだ内容として、教師自身のICT活用スキルの向上のための取組と答えた割合は、73.8%（前年度43.5%）であった。